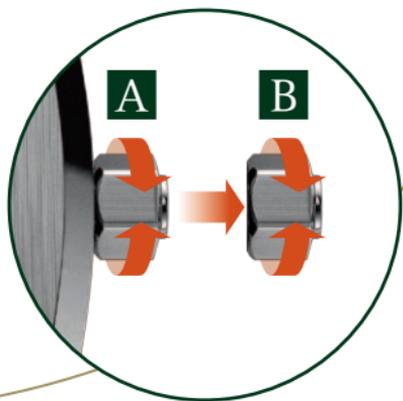


INSTRUCTIONS FOR USE
MODE D'EMPLOI

SELFWINDING MOVEMENT

CALIBRES 2120, 2121 AND 5122

AUDEMARS PIGUET
Le Brassus



日本語

使用説明書の目次はインタラクティブになっています。
読みたい項目のタイトルもしくはサブタイトルをクリックしてください。

目次に戻りたい場合は縦に記された白いインデックス
「日本語」をクリックしてください。

保証とお手入れ

時計の保証、および推奨するお手入れ方法に関する全ての詳細な情報は、証明書および付属の保証書に記されています。



目次

イントロダクション 147ページ
- オーデマ ピゲのマニュファクチュール

時計について 150ページ
- 自動巻きキャリバー

この時計について 152ページ
- ムーブメント
- ムーブメントの仕様
- 特徴

機能の使い方 158ページ
- 時計の表示と機能
- 時刻合わせ
- ムーブメントの巻き上げ
- 簡単な日付調整



イントロダクション オーデマ ピゲ マニュファクチュール

時計製造技術の発祥の地、ジュウ渓谷

ジュネーブの約50 km北、スイス・ジュラ山脈の中に、今日までその自然の魅力を保っている地域、ジュウ渓谷があります。この山岳地帯は気候が厳しく、土壌も痩せていたため、この地に根を下ろした人々は18世紀の中頃に、農業以外の収入の道を探すことを考えました。コンビエと呼ばれたこの土地の人々は、手先の器用さと新しいものを創造する力、また不屈の精神を活かして、時計製造業へと発展していくことになりました。

こうして作られたムーブメントは質が高く、ジュネーブの企業に大変な好評をもって迎えられ、完全な時計に仕上げられたのでした。

1740年以降、ジュウ渓谷のみで時計製造業は自立した産業として発展することができるようになりました。このとき以来、この地域は、ある年代記の1881年の項に記されているように、「急速に発展を遂げた桃源郷」へと変貌したのです。





偉大なる冒険に挑んだ2つの名前

1875年、複雑時計の製作に情熱を傾ける2人の若き天才時計職人、ジュール＝ルイ・オーデマとエドワール＝オーギュスト・ピゲが、高級時計産業が盛んな地、ジュウ渓谷で2つの才能を集結させ、複雑機構を搭載した時計を開発・製作しようと決意しました。2人の決意、想像力、そして規律の正しさは、ただちに成功を収めました。1885年ごろ2人はジュネーブに支店を構え、1889年のパリ万国博覧会の際には様々な超複雑懐中時計を発表して、新たな取り引き関係を広げます。オーデマ ピゲのマニュファクチュールは年々と発展を続け、例えば1892年には初めてのミニッツリピーター機能付きの腕時計、1915年にはそれまで実現されたことのない5分単位ミニッツリピーター機能を備えた最小ムーブメントを製作するなどして、高級時計産業の歴史を彩ってきました。

1918年からは、創設者の息子たちが事業を受け継いでいます。男性用、女性用の腕時計の製作に卓越した技術を発揮し、極薄の洗練された新しいムーブメントを作り出しています。1929年のウォ

ール・ストリート株価大暴落によって厳しい経営を強いられるものの、粘り強さと信念を持ち続けることで、まずスケルトンと呼ばれる時計の製作を再び軌道に乗せ、その後クロノグラフ付き時計の製造に乗り出しました。しかし、この新しい勢いも、第二次世界大戦によって突然中断を余儀なくされてしまいます。戦後は再編成をし、マニュファクチュールは、「伝統と革新」を追究しつつ、ハイエンドウォッチの製作に注力。そして特に、クリエイティブの斬新さという方針により、戦略は実を結んだのです。



国際的な成功を収めたオーデマ ピゲ は、1972年にステンレススティールを用いた世界初のラグジュアリースポーツウォッチとして発表され、発売と同時に大きな成功を収めたロイヤル オークの製作をはじめ、1986年に発表された世界初の自動巻きの極薄トゥールビヨン腕時計などの製作を続けてきました。以来、マニュファクチュールの創造のひらめきは衰えることなく、比類ないムーブメントを備えた独自の美しさを持つ時計を世に送り続けています。こうして80年代末には複雑時計のテストをコンテンポラリーなものに一新し、1999年には見事なコレクション、トラディション オブ エクセレンスを発表します。オーデマ ピゲはこのシリーズの一環として、オーバルケースデザインのミレネリーのトラディション オブ エクセレンスNo.5を発表しました。この時計には、パワーリザーブ・インジケーター機能、デットビートセコンド機能、垂直に配された永久カレンダーが備わっており、さらには潤滑油を必要とせず革命的な高い効率で機能する新脱進機システムを搭載することにより、伝統に根付いた大胆なスピリットを実現しながら、未来をも約束しています。



時計について 自動巻きキャリバー

自動巻時計では、手首の動きがエネルギーに変換され、時計を作動させています。

動的エネルギーは4個のルビー上で回転する22Kゴールドのセグメント回転錐によりもたらされ、歯車によりパレルのスプリングに伝達される。スプリングが徐々にパレル軸に巻き付くことで、エネルギーが蓄積されます。蓄えられたエネルギーはコンスタントにムーブメントに供給されます。

時計を填めた方の運動量や生活習慣の違いにより、数時間から数日の範囲でパワー・リザーブが上限に達します。

過大な負担を防ぐために、巧妙なシステムによりゼンマイが適当なタイミングで香箱内を空転します。

時計の仕様について 基本ムーブメント

キャリバー 2120



ケースバック



ダイヤル側

ムーブメントの技術仕様

ムーブメントの厚さ: 2.45 ミリ

ムーブメントの直径: 28.40 ミリ

振動数: 2.75 Hz (19,800 振動/時)

石数: 36

パワーリザーブ (ミニマム) : 約 40 時間

双方向回転自動巻

変動慣性マスロット使用テンプ

平面スパイラル

可動ヒゲ持ち受け

22K製ゴールドローター

部品数: 212

特徴

エクストラフラット ムーブメント

片持ち式バレル

テンプの腕に直接はめ込まれたインパルスピン

回転錐は4個のルビー上で回転する外周リングに支えられ、摩耗と消耗を抑える

手作業で仕上げられたブリッジ (面取り加工、エッジにサテン仕上げ、さら穴にペルラージュ装飾)

ローターはカスタマイズ可

時計の仕様について 基本ムーブメント

キャリバー 2121



ケースバック



ダイヤル側

ムーブメントの技術仕様

ムーブメントの厚さ: 3.05 ミリ

ムーブメントの直径: 28.40 ミリ

振動数: 2.75 Hz (19,800 振動/時)

石数: 36

パワーリザーブ (ミニマム) : 約40時間

双方向回転自動巻

瞬時切り替りシンプルカレンダー

変動慣性マスロット使用テンプ

平面スパイラル

可動ヒゲ持ち受け

22K製ゴールドローター

部品数: 247

特徴

エクストラフラット ムーブメント

片持ち式バレル

テンプの腕に直接はめ込まれたインパルスピン

回転錐は4個のルビー上で回転する外周リング
に支えられ、摩擦と消耗を抑える

手作業で仕上げられたブリッジ (面取り加工、
エッジにサテン仕上げ、さら穴にペルラージュ
装飾)

ローターはカスタマイズ可

時計の仕様について 基本ムーブメント

キャリバー5122 スケルトン



ケースバック



ダイヤル側

ムーブメントの技術仕様

ムーブメントの厚さ: 3.10 ミリ

ムーブメントの直径: 28.50 ミリ

振動数: 2.75 Hz (19,800 振動/時)

石数: 36

パワーリザーブ (ミニマム) : 約 40 時間

双方向回転自動巻

瞬時切り替りシンプルカレンダー

変動慣性マスロット使用テンプ

平面スパイラル

可動ヒゲ持ち受け

22K製ゴールドローター

部品数: 235

特徴

エクストラフラット ムーブメント

スケルトンムーブメント

片持ち式パレル

テンプの腕に直接はめ込まれたインパルスピン

回転錐は4個のルビー上で回転する外周リング
に支えられ、摩擦と消耗を抑える

サファイアのカレンダー表示

ブリッジと地板は手仕上げ (アングル磨き、サ
テン仕上げ、パール仕上げ、ライン仕上げ)

ローターはカスタマイズ可

機能の使い方

腕時計の表示機能

(図を参照)

- ① 時針
- ② 分針
- ③ 日付窓 (モデルによる)

デイト表示付きモデル

この時計は2つのポジションを有するリューズを備えています。

- A 位置 手巻き
- B 時刻合わせと日付修正位置のリュウズ

デイト表示なしモデル

この時計は2つのポジションを有するリューズを備えています。

- A 位置 手巻き
- B 位置 時刻合わせ



機能の使い方

時刻合わせ

リューズをポジション **B** に引き出します。時刻合わせをする時はリューズを前後に回すことができます。時間調整時には設定希望時刻より5分進めてから希望時刻に戻すことをお勧めします。歯車かみあいが正確になり精度がより高くなります。

注意: デイト表示付きモデルの場合は、日付を調整する時に正午と零時を間違えないようにご注意ください。

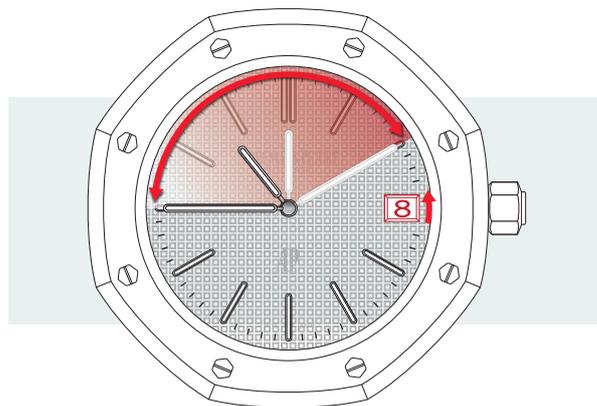
ムーブメントの巻き上げ

時計が停止した場合は、リューズを (**A** 位置で) 最低30回回転させることにより、巻き上げることができます。その後は手首の動きにより、自動巻機構が時計の正常な作動を持続させます。

注意: 時計を腕に着けていない時、自動巻の巻き上げシステムは機能せず。最初の巻き上げの量によりパワーリザーブの残っている40時間までの間に止まります。

簡単な日付調整 (モデルによる)

注意: デイト修正セクターは22時45分と0時10分の間にあります(図参照)。



デイトを修正する時は、リューズをまず **B** のポジションに引き出します。

リューズをさらに回し(時計回り)、針を0時10分まで進めます。するとデイトが1日進みます。

リューズを回し(反時計回り)、針を22時45分に戻してから、必要な回数だけ操作をくり返します。

時計の時刻を合わせ直してください。針が再度零時を越さないようにして下さい。日付がまた変わってしまいます。

